

大正十四年十二月

農民労働党創立運動ノ顛末

警保局保安課

戦前期警察資料の空白を補う
新発見資料、文書115点を
マイクロフィルム版にて刊行!

廣畑研二 編・解説

一九二〇年代 社会運動関係 警察資料

マイクロフィルム版

全12リール十別冊1

二〇〇三年十二月刊

大正十四年十二月

大正十四年 労働運動ノ状況
中ニ於ケル

秘密

警保局保安課

- 内務省警保局『社会運動ノ状況』
「大正十四年版」三分冊を含む新発見資料
- 内務省警保局一九二三年分年報四分冊発見
（「水平運動ノ概況」を含む）
- 一九二五年の国内外治安政策に関わる重要資料
- 警視庁特高課労働係による新発見調査と
逐次刊行物半年報
- 農民労働党結成と結社禁止処分に到る
社会運動取締りの動向を網羅

- 原本 東京都立大学図書館・国立公文書館
- 内容 内閣書記官室(13点)・警視総監室(98点)・
内務省警保局(4点)の文書115点
- 推薦 荻野富士夫(小樽商科大学教授)
- 別冊 「解説」(廣畑研二)「総目録」「索引」
(別冊のみ分売可 本体価格2,000円+税)
- 定価 揃本体価格200,000円+税

不二出版

特高警察の確立過程と社会運動の興隆過程の理解に大きく寄与

かつて私は、一九二〇年代の抑圧取締体制が社会運動との対抗で後手に回ることを指摘したが、今回の大量の資料群の発掘により、それは修正を余儀なくされることになった。ことに、『特別要視察人状勢一斑』シリーズから『社会運動ノ状況』シリーズに移っていく二〇年代中葉の内務省警保局編纂の視察報告書が、従来確認されていた「一九二六年版」から、「最近ニ於ケル本邦社会主義運動概況」などから成る「一九二三年版」にまで一挙にさかのぼることになったことは、「抑圧取締の過渡期」(松尾尊兌氏)たるこの時期の急速に進展拡大する社会運動の把握と抑圧に、確立過程の特高警察がその機能をフルに発揮しつつあったことを雄弁に物語る。また、警視庁特高課労働係の逐次刊行物半年報である「大正十四年一月以降事務成績」(労働情報)などの出現は、急展開する労働運動との最前線での対峙の様相を検証可能にするにとどまらず、やがて同係が二八年の三・一五事件に結実する共産主義運動取締の中心に成長していくことを理解する手がかりとなる。

荻野富士夫
(小樽商科大学教授)

『大正十四年中ニ於ケル労働運動ノ状況』

一九二五年一月 警保局保安課

内容見本

目次

第一章 總説

第一節 最近二、三年間ノ状勢……………一頁

第二節 大正十四年ノ状勢……………九頁

第二章 労働団体

第一節 労働団体ノ現勢……………一七頁

附表 労働団体調査表(一)……………一七頁

同 労働団体調査表(二)……………一八頁

第三節 労働団体ト他ノ団体トノ關係

- (1) 共産主義系労働団体……………三三頁
 - (2) 無政府主義系労働団体……………三五頁
 - (3) 労働組合主義的労働団体……………四〇頁
- 第三節 労働団体ト他ノ団体トノ關係……………四四頁
- (1) 日本農民組合トノ關係……………四四頁
 - 同 日本農工組合トノ關係……………四六頁
 - 同 研究會トノ關係……………四七頁
 - 同 日本無産青年同盟トノ關係……………四八頁
 - 労働団体ノ組織分合……………五〇頁
 - 労働組合會議ノ成立……………五一頁
 - 労働組合會議ノ分裂……………五二頁

大正十四年十二月

大正十四年中ニ於ケル労働運動ノ状況

警保局保安課

内容見本

『農民労働党創立運動ノ顛末』

一九二五年一月 警保局保安課

目次

- 第一章 無産政黨運動ノ起原ト……………一頁
- 第二章 労働団体、農民組合等ノ運動……………二頁
- (1) 日本労働組合同盟……………二頁
- (2) 日本労働組合評議會……………三頁
- (3) 日本農民組合……………四頁
- (4) 水戸及北相模無産青年同盟……………五頁
- 第三章 無産政黨組織準備委員會ノ顛末……………六頁
- (1) 日本農民組合ノ提議……………六頁
- (2) 無産政黨組織準備委員會第一回協議會……………七頁
- (3) 第一回個領規程調査委員會……………八頁

第一章 無産政黨運動ノ起原ト

共産主義者ノ指導……………一頁

ハルセビツキ傾向ニ屬スル本邦共産主義者ハ近年主義運動ノ實際化ヲ習得セル者アリ、即チ從來未だ國ニ於ケル無産階級運動タル社會主義運動ト労働運動トハ何レモ其ノ前衝ト大派トノ間ニ若シキ距離ヲ生シタルヲ以テ再ヒ後轉シテ大衆中ニ還元シ、無産階級ノ實際ヲ顧ミ、先ツ現實ニ欲スルモノヲ現實ニ以テ與ヘ、漸次局面ノ進展ヲ計ラサルヘカラス

之ノ力ヲ爲メハ前衝全體ノ方向轉換ヲ要スト

論セリ(大正十四年八月、九月、十月、十一月、十二月、昭和元年)

農民労働党創立運動ノ顛末

警保局保安課

大正十四年中ニ於ケル本邦労働運動ノ状況

第一章 總説

第一節 最近二、三年間ノ状勢

我國ノ労働運動ハ世界大戰勃發後諸工業ノ勃興、之ニ伴フ労働者需要ノ激増、諸物價ノ異常ナル騰貴等ノ影響並各種新思潮ノ流入、社會主義運動ノ抬頭、露西亞及独逸革命ノ成就、大正八年以降連年開催ノ國際労働會議等ノ刺激ニ依リ遽ニ近代的大衆的色彩濃厚ナルニ至レルモノナリ。

先ツ労働争議ノ狀況ニ付キ之ヲ觀ルニ明治三十年乃至三十九年ノ十年間ニ於テハ同盟罷業件數一年平均十七件、参加労働者一年平均二十九百四十八人、明治四十乃至大正二年ノ七年間ニ在リテハ罷業件數一年平均三十件、参加労働者一年平均參千八百五十七人ニ過キサリシモノ大正三年乃至七年ノ戰時五ヶ年ニ於テハ罷業件數一年平均二百七件、参加労働者一年平均二万九千五百八十七人ノ多數ニ達セリ。越テ大正八年好景氣ノ絶頂ニ於テハ罷業件數四百九十七

内容見本

秘

大正十四年一月以降事務成績

労働係

目次

第一、本年一月以降、於ケル労働運動ノ概要……………一

第二、労働争議ニ関スル件……………三

 (一) 工場労働争議ノ状況……………三

 (二) 小作争議ノ状況……………三

第三、労働団体ニ関スル件……………三

 (一) 労働団体ノ起廢分合ノ状況……………三

 A. 主ナル新設団体(関東労働組合會議)……………三

 B. 主ナル分裂団体(日本労働總同盟)……………三

 (二) 労働団体ノ行動……………三

 A. 國際労働代表推薦……………三

 (一) 労働代表及顧問推薦額……………三

 (二) 使用者代表及顧問推薦額……………三

 B. 三法案反對運動……………三

 C. 第六國メーデー示威運動……………三

 D. 支那労働者罷業ニ対スル都下各労働団体ノ行動……………三

 E. 其他労働問題ノ集會及多衆運動……………三

第四、労働要視察人ニ関スル件……………三

 (一) 要視察人ノ数及生活状況思想傾向……………三

 (二) 各種運動ト要視察人トノ關係……………三

第五、自カ労働者ニ関スル件……………三

 (一) 標榜不良者取締ノ件……………三

 (二) 自事業ニ関スル件……………三

 (三) 労働者調……………三

 (四) 終リ……………三

第一、本年一月以降ニ於ケル労働運動ノ概要

最近労働運動ノ趨勢ハ現實ニ立脚シテ経済運動ヲ主眼トシテ進ムルハ政治的向上運動ニ勢ハラントスル傾向ヲ示シ殊ニ治安維持法ノ改訂ニ對シテハ、大ノ利敵脅威ヲ感シタルモノ、如ク一般労働階級ノ奮闘著クモ、健全化シタル模様アリ

今や經濟界ハ好況時代ノ反動期ニ入り産業界不振ノ結果一般資本家側ハ事業縮小ノ爲メ休業ニ次カニ職首ヲ以テシテ漸次組織労働者ノ結束ヲ促シテスル情勢ニアルニ彼等ハ努力ヲ批駁的怒ヲ避ケルニ現存ニテ最近労働争議免因ニ事業不振ニ依ルニ大部分ヲ占メ殊ニ解雇ニ基クモノハ一位ニアル

労働者ノ讓歩ニヨリ解決スルヲ常トシテ後テ労働組合内部ノ競争ヨリ分合漸ク繁ク我國労働団体中最近努力アリ且ツ比較的古キ歴史ヲ有スル日本労働總同盟ハ幹部ノ軋軟ヨリ遂ニ分裂スルニ至ルル等労働組合運動ノ危機ニ類セルノ状アリト雖一面組合ノ分裂ハ從來主義主義派ヲ異ニセル組合間ノ結合ヲ促シ就中昨春以來理想ヨリ實現ヘノ方向標榜ハ再々労働組合全國的總聯合運動ヲ促進セシメ各労働団体ハ既ニ共通の問題ニ関スル協議機關トシテ関東労働組合會議ヲ組織シ治男維持法果反對メーデー示威運動其他各種運動ニ衝リ今や國際問題ニ関スル運動ニ着手シ

目次

第一、本年七月以降ニ於ケル労働運動ノ概要……………一

第二、労働争議ニ関スル件……………三

 A. 工場労働争議ノ状況……………三

 (一) 東京製本株式會社……………三

 (二) 満月堂印刷所……………三

 (三) 日本建築株式會社……………三

 (四) 京屋印刷所……………三

 (五) 日清印刷株式會社……………三

 B. 労働争議調査表……………三

 C. 小作争議ノ状況……………三

第三、労働団体ニ関スル件……………三

 A. 労働団体ノ起廢分合ニ関スル事項……………三

 (一) 主ナル新設団体……………三

 (二) 主ナル併合団体……………三

 (三) 主ナル分裂団体……………三

 B. 労働団体ノ主ナル行動……………三

 (一) 抗日黨國飛行家歡迎状況……………三

 (二) 露國金屬労働組合幹部本邦労働團……………三

 (三) 對スル労働団体ノ行動……………三

 (四) 對スル労働団体ノ行動……………三

第一、七月以降ニ於ケル労働運動ノ概要

我國ニ於ケル労働運動ハ近時著クモ、健全化シテ從來ノ所謂理想的運動ヨリ漸次現實的運動ニ傾キ今や之レヲ轉換ノ期ニ際シテツツアルコトハ既ニ述バル所アリ且カ本年前期ニ起リタル日本労働總同盟ノ分裂ハ亦之レニ起因シ茲會主義ニ依リ合議的漸進的運動ヲ主張スル總同盟ト茲會政治ニ依ルニ對峙明ナル階級意識ノ下ニ急進的ニ進ム併發會トハ共ニ全國的ニ同系分子ヲ結合シテ左右両派ノ主動ヲ形成シ現下ノ運動思潮ニ二潮流ヲ現出スルニ至リタルニ政治行動ヲ以テ急進階級ノ解放ヲ期セントスル傾向ハ一層濃厚トナリツツアリ

本年六月日本農民組合率先急進政黨組織ヲ提唱スルヤ一部少數政府主義系団体ヲ除キ殆ント全國急進團體尙然之ニ參加シ甚多ノ曲解難問ヲ経テ十二月一日農民労働党トシテ協党ヲ告ゲタルガ成立直後禁止ノ厄ニ遭ヒタルニ依然トシテ素志ヲ捨テス再舉ニ奮心スルノ實情ハ以テ之レガ傾向ヲ如實ニ物語ルモノト謂フヲ得ベシ

一方經濟界ハ尚不況ノ状ヲ脱セズ事業ノ縮小閉鎖等種種ニ起リ之ニ伴フ失業ノ不安ハ既ツテ労働者ノ自覺ヲ促シタル態アリテ自衛ノ途ヲ圖シ力ニ依リ積極的ニ行動改善ヲ要求シテ職首ニ對抗セントスルノ傾向ヲ生ジ身謀件散前期ニ倍加スルノ實情ニシテ之レヲ解決シニ要領ニ依ルト雖モ何レモ労働階級ヲ利スル結果ヲ見組織労働者著ク増加シタリ

内容見本

労働情報

大正十四年十二月

警視廳労働係

概要

●体裁 Ⅱ マイクロフィルム版全12リール・別冊1

リール1 内閣書記官室旧蔵文書

リール2 警察庁移管文書

リール3～12 警視総監室旧蔵文書第1巻～第10巻

●別冊 Ⅱ 解説(廣畑研二)・総目録・索引(別冊のみ分売可 Ⅱ 本体価格2,000円+税)

ISBN4-8350-3122-9

●推薦 Ⅱ 荻野富士夫

●定価 Ⅱ 揃本体価格200,000円+税

関連図書

内務省警保局 Ⅱ 編

社会運動の状況

大正15年版
昭和2年版 全2巻

● 解題(荻野富士夫)付き

● A4判・上製・総812頁

● 揃定価 Ⅱ 本体500,000円+税

● '94年12月刊(復刻版)

内務省警保局刊行の社会運動関係の定期刊行物のうち、年報形式のものは『社会運動の状況』があり、復刻版(昭和三二七年・三三書房刊)が刊行されている。しかし、『社会運動の状況』として二冊にまとめられ活版印刷にされるのは、昭和四年以降であり、それ以前は、社会主義運動・労働運動・農民運動・水平運動(在留朝鮮人・無産政党運動などに分かれて謄写版印刷で刊行されていた)。

弊社では、日本大学法学部図書館・山岡文庫所蔵本の発掘により、大正二五年、昭和二年の二年分を復刻刊行した。

荻野富士夫 Ⅱ 編・解題

特高警察関係

資料集成 全30巻・別冊1

● 別冊 Ⅱ 『特高警察関係資料解説』

(別冊のみ分売可 Ⅱ 本体25,000円+税)

● A4判・上製・総14、300頁

● 揃定価 Ⅱ 本体775,000円+税

● '91年6月～'95年3月刊(復刻版)

本書は、特高警察に関する膨大な資料の中から、今日重要と思われるものを整理・復刻したものである。これまでにほとんど知られていなかった米騒動、一九二〇年代の社会運動、三・二五事件関係等の資料群も収録し、二二のテーマに分け、編年体により編集。権力の弾圧・抑圧の幅と興行を示すことにより、特高警察体制の全体像を提示する。従来公刊されてきた外事警察や出版警察、在日朝鮮人運動関係の復刻版・資料集等の欠落を補完するものである。

● 推薦 Ⅱ 今井清・奥平康弘・松尾尊兌・由井正臣
渡部 徹

奈良県水平社資料集 ①

創立期水平社

運動資料 全4巻・別冊1

〔(仮称)水平社歴史館〕建設推進委員会 Ⅱ 編

● 別冊 Ⅱ 解説(蓮城寺秋幸)・細目次

(別冊のみ分売可 Ⅱ 本体1,000円+税)

● B5判・上製・総2,016頁

● 揃定価 Ⅱ 本体70,000円+税

● '94年9月刊(復刻版)

奈良県下の創立期水平運動は、水平社の創立の中核的存在であった。本資料は、この奈良における、水平社創立へ向かう部落民の生の声を伝える、行政側文書の復刻である。今日まで、当時の記録は取締り警察側の一次的編纂物が主流であったが、今回、旧奈良県庁文書を整理し、解説を付して復刻刊行する。『水平社一件記録』(大正二二二年)『水平運動三関スル書類』(大正二二年)『水平一件』(大正二二三年)の三点を収録。

● 推薦 Ⅱ 秋定嘉和・朝治 武・金井英樹

● 表示価格はすべて税別。

不二出版

T113・0023
東京都文京区向丘1・2・12
電話03・3812・4433
ファクシミリ03・3812・4464
振替001600294084